

設立趣意書

日本医療器材協会と日本人工臓器工業協会が合併し、2000年11月に生まれた日本医療器材工業会は、今日まで約13年にわたる諸活動を通じて、会員及び医療機器業界はもとより医療関係者や行政等との信頼関係を築いて参りました。

一方、新しい医療機器の展開が進む中、患者さまをはじめとする国民、医療関係者、政府からは、日本の医療機器産業界に対してイノベーションの推進、経済の牽引役などのかつてない期待が寄せられています。こうした期待に応えるべく、本年3月、新しいビジョンを設定しましたが、組織についても、社会に対する責務をより明確にするため、現在の任意団体を本年10月1日付で一般社団法人に衣替えをすることに致しました。

また、今まで団体名に「医療器材」という言葉を使って参りましたが、医器工メンバーが対象とする分野が、医療機器、医療材料に留まらず、再生医療、ICT、ソフトウェア、システム等に広がっています。一般社団法人に移行するに当り、将来の技術発展と分野の広がりを「医療機器テクノロジー」という言葉（英文名は Medical Technology）で表し、団体名を新しく変更することに致しました。

<ビジョン>

「本会は、安全でかつより革新的な医療機器テクノロジーを速やかに提供することにより、日本をはじめ世界の医療の質の向上と日本の医療機器テクノロジー産業の振興に貢献する。」

<団体名>

(一社) 日本医療機器テクノロジー協会

略称：MTJAPAN

英文名：Medical Technology Association of Japan

略称：MTJAPAN

<設立日>

2013年10月1日

会員企業の皆様には、一般社団法人の設立趣旨にご理解をいただき、また、新名称のもとにこれまで以上に本会活動へのご支援とご協力を賜りますことを切にお願い申し上げます。

